

知行合一

学校教育目標：夢実現 潤いと輝きにあふれる学校

校訓
自主 誠実 躍進
田浦中学校だより No. 8
令和7年12月24日
文責:校長 山下 暢子

之（これ）を如何（いかに）、之（これ）を如何（いかに）と
曰（い）わざる者は、吾（われ）之を如何ともする未（な）きのみ。

（論語百選：82ページ）

訳：「これをどうしたらいいだろうか。どうしたらいいだろうか。」と、自ら深く考えようとしていない人に対しては、私もどうすることもできない。

「どうしようか」と悩むことは「どうにかしたい」と思っているのです。「どうにかしたい」と思うからこそ、人の意見を聞き入れ、改善や成長ができるのです。

芦北町合併20周年記念式典開催

12月19日（金）、活性化センターにて田浦校区の記念式典を実施しました。司会は、宇治原彩羽さん（小学6年）と山科和汰瑠くん（中学3年）が担当し、二人で協力しながら会を進めました。式典は、藤崎新大くん（小学6年）と山口久美子さん（中学3年）の夢発表からスタートし、坂前優苺くん（小学6年）が、「僕はふるさと芦北町が大好きです。この式典が、未来へとつながる大切な一歩となるように、そして、この会場にいる全ての人が、これからも笑顔で幸せであることを願っています。」と、開会を宣言しました。



式典の中心は、田浦中学校出身の田中杜旺 KAB アナウンサーの講演でした。「なりたい自分を目指して」の演題の下、「0.5秒即実況」「取材アンドリポートチャレンジ」と、アナウンサー体験を取り入れながら、思いを言語化していくことの難しさと共に、相手を尊重することの大切さを伝えられました。また



自身の子どもの頃の夢や、自分の得意なことを活かしていくことが、仕事につながっていること等を話されました。

講演後は小学生が「Believe」中学生が「Replay」を歌い、最後に小中学生全員で嵐の「ふるさと」を歌い上げました。

「これからどんな道を選んだとしても、この田浦で過ごした時間を大切に、そして、今日、みんなで歌ったふるさとを忘れずに、しっかりと自分の足で歩いていきます。」と、岡村莉良さんが終わりの言葉で述べたように、ふるさと“芦北（田浦）”の良さを再確認できた会でした。



小中合同あいさつ運動を行っています！

1月のあいさつ運動は、1月9日（金）「いいあいさつの日」、1月23日（金）「にこにこあいさつの日」に実施します。

熊本県教育委員会指定「熊本の学び」研究指定校発表会

11月28日（金）に、田浦小中学校合同で、研究発表会を実施しました。

中学校では、1年生が「総合的な学習の時間」の「田浦を愛でる」という題材で、臼太鼓踊りに取り組んだ学びをまとめる授業と、2年生が「理科」の「日本の気象」という題材で、修学旅行で訪れる期間の沖縄の天気を予測する授業を公開しました。



令和6年度と7年度の2年間、小中学校合同で二つのプロジェクトを立ち上げ、「コミュニケーション力・発信力」の向上を目指して取り組んできた研究です。「学ぶプロジェクト」では、授業の進め方を中心に、小学校からの学びをつなぐ研究を進めました。「つながるプロジェクト」では、キャリア教育を中心に「総合的な学習の時間」の見直しを行いながら、地域の人とのつながり

りや保護者の方とのつながりの中で「コミュニケーション力・発信力」を高めることを目標としました。当日は、芦北町の先生方を中心に120名ほどの参加者の中、自分の考えや学びの振り返りをしっかりと発信していました。職員も、小学校の授業を参観したり意見を交換したりしながら多くの学びを得た機会となりました。来年度からも、田浦校区の良さである、小中連携を図りながら、研究を進めていきたいと思ひます。

2年生：修学旅行

12月9日（火）～11日（木）の三日間、2年生は沖縄への修学旅行を実施しました。天候にも恵まれ、最高気温は25度と、気候の違いや文化の違いを感じられる充実した三日間を過ごすことができました。



前半は、平和祈念資料館や系数壕などで平和学習を中心に学びを深めました。後半は、班ごとに分かれて「サータアングギー作り」「海のフォトフレーム作り」「三線体験」を行ったり、美ら海水族館見学や首里城見学など、沖縄の文化に触れることができました。



海の美しさに感動しながらも、そこにある戦争の深い悲しみも実感し、沖縄戦の悲惨さと平和と命の尊さを改めて感じた修学旅行になりました。夜はトランプゲーム等を楽しみながら友達との絆を深め、バスの車窓から見える家並

みやさとうきび畑の風景からも、沖縄を感じることができました。

送迎や事前の準備等、保護者の皆様には大変お世話になりました。

